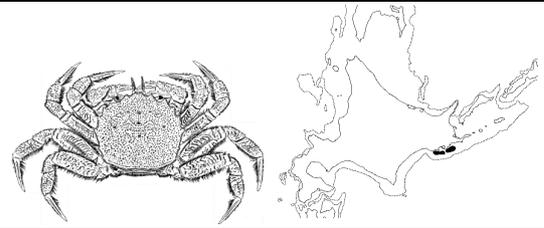


31.ケガニ

主な漁業と漁期
けがにかご：1月下旬～4月



釧路東部海域

生態

◆分布・回遊

水深150m以浅の海域に広く分布しています。移動に関する知見はありませんが、標識放流により東西方向への移動がみられ、大型個体ほど移動範囲が大きく、一部釧路西部海域や根室海域との交流があらと考えられています。

◆産卵期・産卵場

- ◎産卵期は10～翌3月で、抱卵期間は1～1.5年で、幼生ふ化期は1年以上経過した4月頃です。
- ◎産卵場：不明ですが、メスの抱卵個体は釧路海域に多く分布しています。
- ◎産卵生態：交尾・産卵はメスの脱皮に合わせ2～3年ごとに行われます。メスは産卵後、受精卵を自分の腹肢に附着させ、幼生がふ化するまで保護します。

◆成長・成熟

	甲長(mm)		体重(g)	
	オス	メス	オス	メス
2歳	46	43	53	44
3歳	59	53	116	88
4歳	71		209	
5・6歳	84		356	
7・8歳	98		580	

*) 阿部(1982)、Abe(1992)、三原ら(2016)、美坂・石田(2015)、森ら(1991)より

◎成熟年齢・甲長

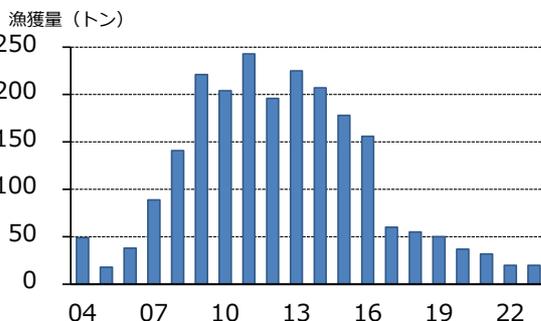
- ・オス：2歳、甲長46mm前後から成熟する個体がみられます。
- ・メス：2歳、甲長43mm前後から成熟を開始し、甲長60～65mm以上で半数以上個体が成熟します。

資源評価

[評価年] 1月～12月

[資源水準の指標] 資源調査による資源量指数

2023年度の漁獲量は20トンであり、前年並でした。資源量指数は2014～2017年度には17前後で安定していましたが、2018年度に大きく減少し、2022年度には7.5になりましたが、2023年度は9.5と前年からやや増加し資源水準は中水準と判断されました。2024年度の資源量指数は2023年度よりやや減少する見込みですが、平均増減率より小さい増減率であることから、資源動向は横ばいと判断されました。



2023年度
の水準



2024年度
の動向

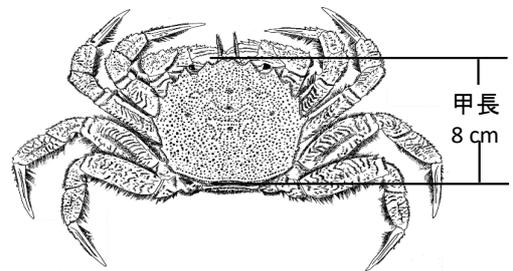


横ばい

資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

- 北海道漁業調整規則
メス、および甲長8cm未満のオスの採捕が禁止されています。
- 許可の条件等
許可隻数、漁期、かご数・目合の制限をしています。また、毎年の資源評価に基づき、許可漁獲量を定めています。



☆ABC目標値に基づく許容漁獲量の設定とともに、今後も現状の漁獲努力量を維持することが望まれます。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
北海道立総合研究機構 釧路水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477

電話 0154-23-6222